

キーワードからつくる

テーマからつくる

ストーリーからつくる

主な特徴

どうしても使用すべき言葉が多くある場合にはこちらがおすすめです。よりオリジナル性が高くなる方法でもあります。

参加者さま全員にとって、何らか共通のものがある場合におすすめです。

ストーリーを設けた謎解きです。最後の答えを「ある行動」にしたい場合には、もっとも適しています。

お決めいただけるオリジナル箇所

- ◆キーワードを 10 (個 / 1 セット) その中から、6,7 個を選び、小謎の答えと大謎の答えに使用します。
- ◆キーワードを導く文
- ◆隠しメッセージ (読みで 20 文字前後) ※必要な場合のみ

- ◆テーマ
- ◆最後の答えの候補… 2 個 いずれかを使用します。
- ◆隠しメッセージ (読みで 20 文字前後) もしくは、ミスリード設定 ※必要な場合のみ

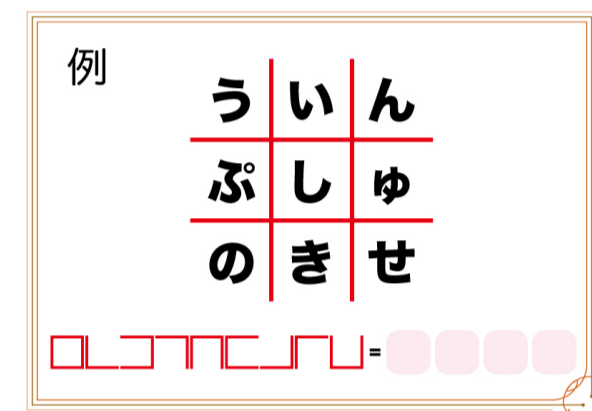
- ◆ストーリー (プロローグ・エピローグ)
- ◆最後の答えの候補… 2 個 いずれかを使用します。
- ◆隠しメッセージ (読みで 20 文字前後) もしくは、ミスリード設定

具体的な内容

<キーワード使用方法例>

- ①キーワード：まつした
- ②キーワードを導く文：新婦の旧姓

①と②について、参加者様全員が知っていること。もしくは、その場にあるものにより把握できる状況でないと成立しません。



その他 例 1

- ①キーワード：しんじゅく
- ②キーワードを導く文：本社の最寄駅

その他 例 2

- ①キーワード：12月24日
- ②キーワードを導く文：入籍日

また、②に関しては、そのキーワードによっては無しでも結構です。その場合は、謎を解くと直接キーワードが出る問題に使用します。

逆に②が記入されていても、全てが使用するとは限りません。直接キーワードを導く場合もあります。

<テーマ使用方法例>

テーマ：サッカー
最後の答え候補：なでしこ or 優勝

制作にあたり、サッカーに関する言葉を小謎の答えにします。

▶謎解き全体の例

小謎の答え

- ・トラップ
- ・ドリブル
- ・スローイン
- ・ピッチサイド
- ・イニエスタ
- ・なでしこ

最後の答え

- ・優勝

大謎の構成に合わせて、小謎 5, 6 問の答えに使用します。

また、大謎で使用しなかった答えの候補は、小謎に使用できる場合もあります。

<ミスリードの例>

謎を全て解くと、大謎の答えは「オフサイド」になる。しかし、スタート時に言われていた注意点をよく思い出すと、正しい答えが出る。正しい最後の答えは「優勝」となる。

<ストーリー使用方法例>

▶リアル系ストーリーの場合
結婚系ゲームの例

▶プロローグ：イタズラ好きのキューピットがウェディングケーキを隠してしまった。「幸せの証」を見せると返してくれるようだ。みんなで協力してケーキを取り返そう。

タイムオーバー時にあるものを持っていたチームが謎解き成功チームです。

▶最後の答え：大謎の答えを「新郎新婦と共にとった写真」としておき、タイムオーバー時にスマートフォンなどにその写真があれば謎解き成功。

企業系ゲームの例

▶プロローグ：直属の上長がある資料を見て激しく怒っている。

「何でも謎解きにしておいて！こんなイタズラをしたのが誰なのか調べてこい。」

タイムオーバーまでにすべての謎を解き、あるものを持って最終チェックポイント

に来たチームが謎解き成功チームです。

▶最後の答え：「一番偉い人の名刺」としておき、その日出席している中で最も上役である社長様の名刺をもらい、それをチェックポイント（上長）でみせたチームが謎解き成功。

SF 系の謎解きゲームの例

▶プロローグ：どうやらこの部屋に閉じ込められてしまったようだ。部屋には鍵がかけられている。鍵の番号が正しいチームがこの部屋から出られるようだ。

▶最後の答え：「ういすますりく」としておき「4221」でクリア。

お作りする謎のレベルについて

「テーマから…」に比べると、小謎も大謎も定番寄りのものになります。また、キーワードが長いほど、謎解きというよりもパズルに近いものになりがちです。長くて **7 文字以下** がオススメです。

「キーワードから…」に比べると、小謎も大謎も難易度や珍しさは上がります。※相対的に…と、ご理解ください。

漢字・アルファベットなどが混ざると、一般向きでない謎解きになる可能性があります。謎解きの中身を重視するには、日本語読みに修正することが多いです。

オリジナル性

定番寄りの謎になりやすい分、オリジナル要素は最も高いです。

謎の内容重視になる分、オリジナル要素は多少低くなります。

ストーリーと最後の答えの設定次第で、オリジナル性も高くなります。

オススメの用途

▶企業様の社内研修などに…扱われている「サービス」や「社是」などをキーワードに設定していただき、その言葉を使いゲームにします。

▶披露宴・二次会のゲームに…②を新郎新婦しか知らない内容を組み込み、高砂まで質問に来てもらう方式。新郎新婦も参加することができるようなゲームになります。

▶街のイベントのゲームに…その街に関連する言葉を集めゲームにします。

▶クラブ活動などのイベントゲームに…例えば、吹奏楽部であれば楽器や楽譜に関する言葉を集めゲームにします。

▶演技力のあるスタッフさんがおられるような場合に、盛り上がる謎解きゲームができます。

▶新郎新婦様が演技をするなどもパーティーゲームとして盛り上がります。